

● 現図書館の現状

及び新図書館建設事業の経過について



① 伊東市 現図書館等の現状

○伊東図書館の概要・所蔵資料数・利用状況等-1

施設概要:伊東図書館

開館	所在地	面積	駐車台数	閲覧席
昭和55年 11月1日	伊東市音無町5番14号	約2,713㎡ (うち図書館専用床面積:954㎡)	22台	108席
開館時間	休館日	所蔵資料数(R4)	貸出数(R4)	
9:30~ 18:00	①月曜日、②祝日、③年末年始、 ④月末整理日、⑤蔵書点検期間	196,863点 ※移動図書館含む	169,491点 ※移動図書館含む	

施設概要:大原児童図書館【令和元年度から休館中】

開館	場所	開館日	開館時間
昭和53年 12月27日	伊東市大原三丁目18番3号 物見ヶ丘公園内	毎週火・木・土曜日	15:00~17:00

施設概要:生涯学習センター中央会館(併設)

階	部屋名	収容人数・広さ	利用人数(R4)	階	部屋名	収容人数・広さ	利用人数(R4)
4階	第1会議室	100人	6,356人	3階	第1和室	6畳+8畳	412人
	第2会議室	30人	1,844人		第2和室	10畳	217人
	第1研修室	30人	2,247人		視聴覚室	50人	5,092人
	第2研修室	20人	1,622人		展示兼トレーニング室	40人	3,342人
	美術工芸室	30人	1,121人	令和4年度合計			22,253人

○伊東図書館の概要・所蔵資料数・利用状況等-2

移動図書館

○昭和58年に運行開始。「ともだち号」の愛称で、小学校等を中心に19か所のステーションを月2回巡回しています。



1	芝原公園
2	大池小学校
3	宇佐美小学校
4	池小学校
5	伊豆急伊豆高原管理事務所
6	伊東小学校
7	十字の園
8	ゆうゆうの里
9	富戸小学校
10	南小学校
11	生涯学習センター荻会館
12	生涯学習センター池会館
13	吉田公園
14	イトーピア管理事務所
15	大室高原自治会館
16	八幡野小学校
17	角折住宅
18	城平住宅
19	鎌田公園



ともだち号

本館	貸出数(R4)
	152,849点
移動図書館	貸出数(R4)
	16,642点

- ※1 総貸出数の1割程度を移動図書館が占める
- ※2 児童書・文学などを中心に人気あり

ステーションマップ・リスト

○基準等との比較【伊東市新図書館基本構想から引用】

図書館の設置及び運営上の望ましい基準等との比較

○「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（文科省告示）」との比較では、基準を下回っている項目が多い。

※1蔵書冊数等は、H29実績

項目	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (冊)	うち開架 (冊)	1㎡当たり冊数(冊)	貸出数 (冊)	図書館数 (館)
伊東市立図書館(伊東図書館のみ)	954	184,728	67,930	193.6	199,234	1.0
望ましい基準【文科省告示】(~8万人)	4,097	382,926	248,215	93.5	819,141	3.5

※2望ましい基準の数値目標は「貸出密度上位の公立図書館整備状況・2018」(JLA図書館調査事業委員会)による

静岡県内23市の図書館との比較

1人当資料費決算額【見込み】(円)		1,000人当所蔵資料(冊)		1,000人当貸出冊数(冊)	
1 御前崎市	815	1 御前崎市	8,524	1 御前崎市	11,060
2 三島市	345	2 伊豆市	5,871	2 掛川市	7,566
3 熱海市	302	3 掛川市	5,431	3 富士市	7,213
平均	243	平均	4,034	平均	5,400
19 下田市	159	19 沼津市	2,897	19 菊川市	3,189
20 浜松市	143	20 伊東市	2,683	20 熱海市	2,926
21 伊東市	140	21 焼津市	2,632	21 伊東市	2,893
22 御殿場市	135	22 菊川市	2,601	22 下田市	2,223
23 牧之原市	73	23 牧之原市	1,625	23 牧之原市	1,547

市民満足度調査の結果

○図書館を利用していると答えた割合

R1	38.4%	R3	38.4%
R2	40.1%	R4	41.4%

○図書館の建て替えや拡張が必要だと答えた割合

R1	25.7%	R3	27.1%
R2	27.7%	R4	21.5%

※3令和2年度に策定した基本構想からの引用のため、最新の数値ではありません。

②新図書館建設事業の経過

○庁内ワーキンググループにおける検討【H29】

庁内ワーキンググループを組織(H29.5)

○図書館・文化ホールの建設を公約に掲げた市長就任後、市役所関係各課【観光課・都市計画課・建築住宅課・生涯学習課】によって組織する

『図書館・文化ホール建設に向けたワーキンググループ』

を速やかに組織(第1回はH29.05.29開催⇒H29:8回、H30:5回開催)



図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性作成(H30.3)

○ワーキンググループでは、

- ①「伊東駅前」、②「マンダリンホテル跡地」、③「市民グラウンド※」、④「アピタ交差点南側」、⑤「伊豆高原駅周辺」

の5か所を建設候補地(案)とした『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』を作成

(※「市民グラウンド」については、人工芝生化事業を実施するとして、候補地から除外。)

○図書館・文化ホール建設に向けた検討会【H30～R1】

有識者会議発足(H30.10)

○『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』を基に、図書館及び文化ホールの建設候補地及び建設形態について検討する有識者会議を平成30年10月に発足

有識者会議での議論

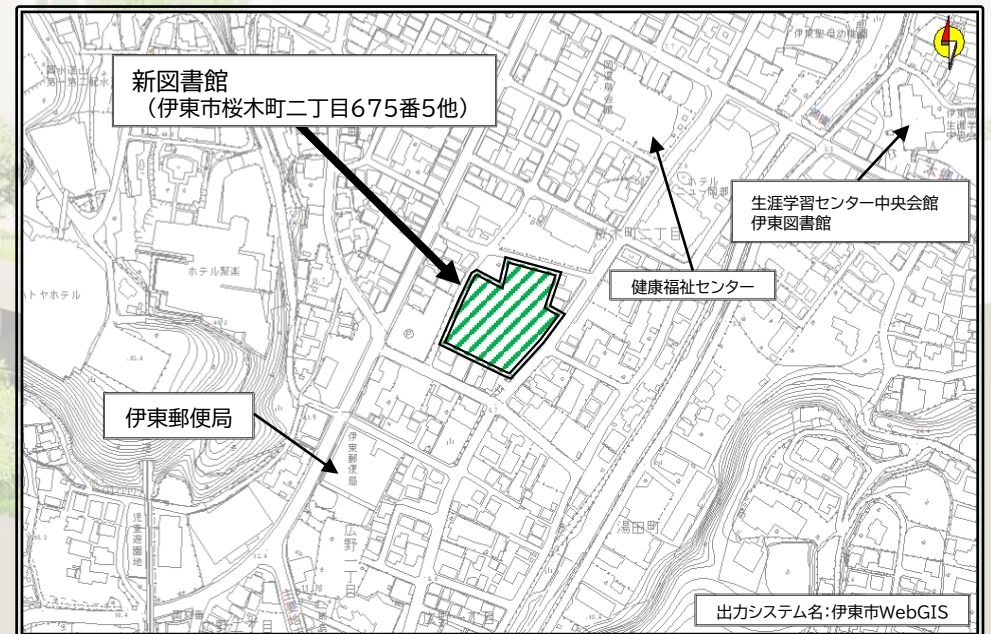
○有識者会議では、施設建設に向け、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議の情報共有、伊東市小・中学校の適正配置や県立高校の統廃合等の動きにも注視しながら、議論を進めた。

建設地の決定(R1.10)

○『図書館・文化ホール建設に向けた検討会』から市長への中間報告を踏まえ、

- ①「図書館・文化ホールを別々に建設する」
- ②「新図書館については『マンダリンホテル跡地』を候補地として、先行して建設する」

旨、令和元年10月に発表



○伊東市新図書館基本構想の策定-1【R1～R2】

～広くご意見を伺いながら構想を策定～

基本構想策定委員会

【委員】

学識経験者・市内関係機関の代表10人

《第1回》

- ・今後のスケジュールについて
- ・前提条件の整理と課題について

《第2回》

- ・新図書館のコンセプト、サービス内容、蔵書目標、施設整備の目標面積構成について

《第3回》

- ・新図書館の諸室構成の検証とゾーニングについて

《第4回》

- ・伊東市新図書館基本構想(案)について

基本構想策定委員会【4回開催】

市民ワークショップ

【メンバー】

小学生ワークショップ

①一般公募 (10代～70代)	②市内中高 生(代表)	合計	ふるさと教室参 加者(小学6年生)
19人	16人	35人	18人

《第1回》

- テーマ・現図書館のよいところ、改善点を考える
- ・新しく図書館に望むことを考える

《第2回》

- テーマ：
わたしの〇〇拠点でしたいこと、必要なものを考えよう

《第3回：書面開催》

- テーマ ・2回のワークショップを終えて
- ・新図書館を拠点とした市全体のサービス網を考えよう

市民ワークショップ【3回開催】



随時共有

○伊東市新図書館基本構想の策定-2【R1～R2】

～基本構想～

コンセプト

『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～

- 生涯にわたる学びや活動に参加し学ぶ喜びや豊かさを享受できる
- 未来を担う子どもたちが、世界に羽ばたき、活躍できる
- 今を担う大人たちが、培ってきた経験や知を発展・発揮できる
- 「国際観光温泉文化都市」伊東市の知・文化・歴史を収集記録し、内外に発信し、多くの人々が訪れる
- 未来を担うひとりひとりが夢を育み、未来を育む事ができる

この図書館があるから伊東市に行ってみたい、住んでみたい、住んでいたいと思えるような図書館

○伊東市新図書館基本構想の策定-3【R1～R2】

7つの機能を拡充

- ①交流機能
- ②一般コーナー機能
- ③伊東市情報センター機能
- ④児童コーナー機能
- ⑤ティーンズコーナー機能
- ⑥生涯学習センター機能
- ⑦ICT機能

蔵書目標など

- 目標蔵書冊数：**33.3**万冊
- 児童書割合：25%程度
(83,250冊)
- 閉架率：50%程度
(約16.7万冊程度)

施設面積の検証(施設屋内面積)

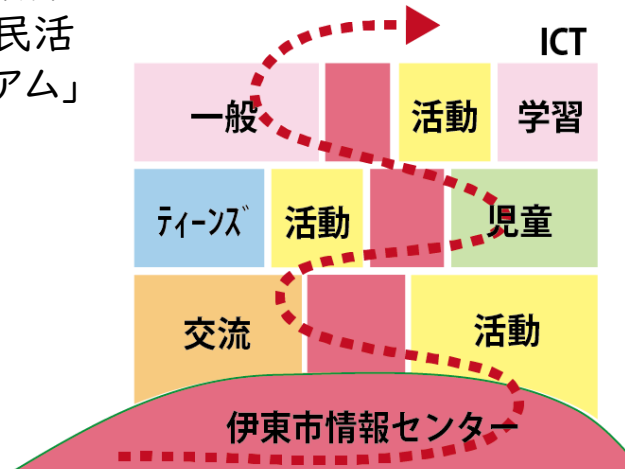
フロア	①拡充する機能を全て 入れ込んだ案	②各機能を融合した案	③各スペースを多 目的に活用した案
延床面積	7,500㎡	6,000㎡	5,000㎡

○ 伊東市新図書館基本計画の策定及び 基本設計・実施設計の完了-1【R3～R4:基本計画部分】

○「伊東市新図書館基本構想」で掲げた3案をベースに詳細検討

目指す姿

・郷土資料を中心に、市内に点在する自然・歴史文化・観光の各種資源のほか、市民活動の記録・成果などを「まちのミュージアム」として集約・発信



サービスの基本的な考え方

・「まちのミュージアム」を通じた地域の魅力発信
・知との偶然の出会いを誘発する選書と配架
・創造を生み出す活動と情報の一体的提供

施設整備の考え方

・動的な活動（低層階）から静的な活動（上層階）へゾーニング
・各フロアの「まちのミュージアム」を媒介とした機能融合

ゾーニング及び配架方針

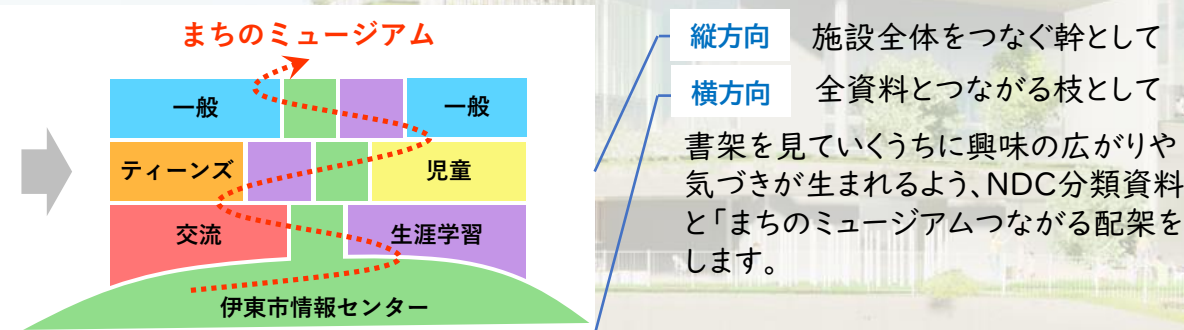
・オープンスペースを基本とし、従来の図書館機能・生涯学習機能の諸室を各フロアに分散配置
・資料の探しやすさに加え、思いがけない本との出会いや地域の魅力発見等も重視して配架を計画

○ 伊東市新図書館基本計画の策定及び 基本設計・実施設計の完了-2【R3～R4:基本計画部分】

配架方針

- ・目的を持って訪れた人が必要な資料にたどり着ける
- ・目的を持たずに訪れた人が思わず本を手にとれる
- ・伊東の魅力に自然と触れることができる **を重視!**

つながる配架(まちのミュージアム)



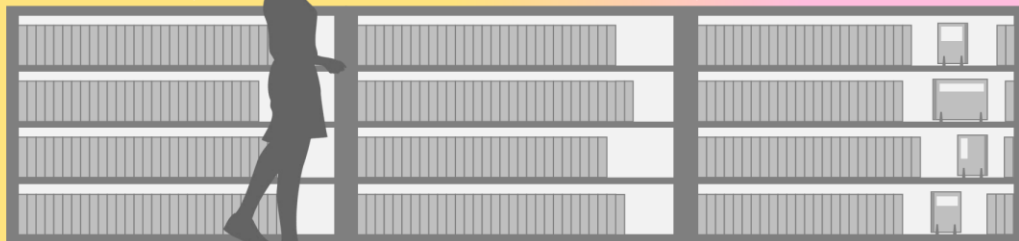
NDC分類と「まちのミュージアム分類」の関連(イメージ)

NDC分類		まちのミュージアム分類 (案)	
郷土資料・閉架資料		0	自治体史、木下圭太郎、温泉、行政資料など従来の郷土資料
0 総記		0	
1 哲学		1	伊豆を含む観光資料から旅に役立つアウトドア関連資料まで (※市内神社など信仰にもつながる観点から)
2 歴史		2	伊東祐親、三浦按針など伊東にまつわる歴史人物が活躍した時代に関連する資料
3 社会科学		3	市民活動の記録や館内の創作スペースで作成した成果物など
4 自然科学		4	ジオパーク関連資料のほか、海、山などに関連する資料など
5 技術		5	伊東市の生活ガイド、伊東にゆかりのある建築資料、健康関連資料、グルメ関連資料など
6 産業		6	伊東の産業や特産物に関連する資料など
7 芸術		7	伊東にゆかりのある芸術家などの関連資料のほか、関連するアート資料、スポーツ関連資料など
8 言語		8	メドウェイ市、リエティ市、イスマイリ州といった友好都市、友好交流都市の関連資料のほか、その国の言語、文化を知ることができる資料など
9 文学		9	伊豆全体に関連する作家や文学系資料
児童 児童書全般		児童	伊東図書館作成の昔話絵本や伊東にゆかりのある作家の絵本など
ティーンズ ティーンズ資料		ティーンズ	『あまんちゅ!』など伊東を舞台にした漫画及び関連するカルチャー系資料など

NDC分類資料
2 (歴史)

興味の連鎖・広がり

まちのミュージアム資料
2 (伊東祐親、三浦按針等)



○ 伊東市新図書館基本計画の策定及び 基本設計・実施設計の完了-3【R3～R4:基本設計・実施設計部分】

施設規模

延床面積：7,365.71㎡

収容冊数：約30万冊

- 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造5階建て
- 建物高さ：最高約23m
- 施設屋内面積：4,660.10㎡
- 1・2階屋内駐車場等：2,705.61㎡
- 駐車場：110台(1階91台・2階19台)

施設の機能

フロア	コンセプト	機能	閲覧席	学習席
5階	知と文化を集積し活用するフロア	一般資料・郷土資料(開架・閲覧スペース)、学習室2、グループ学習室2・3、会議室2・3、活動の部屋2 等	57席	44席
4階	豊かな蔵書を感じる閉架フロア	閉架書庫、作業スペース 等	—	—
3階	成長と好奇心のフロア	児童・ティーンズ資料(開架・閲覧スペース)、学習室1、グループ学習室1、キッズスペース・おはなし室、会議室1、事務室 等	83席	36席
2階	丘とつながる創造のフロア	屋根下広場(臨時駐車場)、屋外広場、小ホール、活動の部屋1、ファブスペース、視聴覚スペース、可動書架、閲覧スペース 等	69席	—
1階	施設の顔となる憩いのフロア	駐車場、カフェ・ショップ、移動図書館専用車庫、バックヤード、予約棚 等	14席	—
			223席	80席

○ 伊東市新図書館基本計画の策定及び 基本設計・実施設計の完了-4【R3～R4:基本設計・実施設計部分】

外観計画

③多様な庭

各フロアに特徴を持った屋外テラスを設け、公園の少ないまちなかに居場所をつくれます。

②ヒダ壁

伊東の温暖で穏やかな風や光などの環境に呼応しながら放射状に配置する「ヒダ壁」により内部を分節します。

①活動の丘

伊豆半島の大地と連続する力強い緑の丘をつくり、活動を生み出します。
緑豊かな居場所を設けることで、まちに賑わいを創出します。

東側外観イメージ

外観・内観パース



鳥瞰イメージ



2F内観イメージ



4F内観イメージ



3F内観イメージ